



NPO법인
삼천리철도

三千里

Vol. 24

2016年5月号

発行
NPO法人 三千里鐵道
〒441-0109
愛知県豊橋市下五井町青木31
TEL.0532-53-6999
FAX.0532-54-4931

ケソン工業団地を再稼働せよ!

代表 都相太

NPO法人三千里鐵道は、韓国の朴槿恵政権によるケソン工業団地の閉鎖に対し、「ケソン工業団地を再稼働せよ!」と、2月19日のハンギョレ新聞に抗議の意見広告を出しました。

改めてここに「ケソン工業団地を再稼働せよ!」と訴えます。

2000年6月15日に発表された6.15南北共同宣言の精神に基づいて唯一残された成果をこんなにもたやすく放棄していいものでしょうか。

北側の核実験やロケット発射が、その原因だと主張しても、第一には南北の同胞に、それぞれが銃口を向けないように努力するのが、南北の権力者の責務であります。

戦端を開けば、何百万、何千万の犠牲者が出ることは明白であり、内政の失敗のために緊張状態を作り出し、その失敗を糊塗するとしたら、それは権力者としての資質を問われることになるでしょう。

NPO法人三千里鐵道は、在日同胞を中心とした初のケソン工業団地訪問を2月中旬に決定しましたが、残念なことに中止という最悪な事態になりました。

ケソン工業団地訪問の目的は、南北和解の象徴であるこの地で、海外同胞として何らかの役割を果たせないのかを探るためのものでした。在日同胞がケソン工業団地に関わることは、韓国統一部次官であった故李鳳朝先生の願いでもありました。

ケソン工業団地は2013年にも北側の処置により閉鎖されましたが、再開に当たって南北両政府は「いかなる場合にも情勢の影響を受けることなく、ケソン工業団地の正常な運営を保障する」と約束した経緯があります。

どのような事情が有るにしても、この約束を反故にした朴槿恵政権の責任は重く、再開には多くの困難があるでしょうが、朝鮮半島が戦争の惨禍で壊滅しない限り、希望を捨ててはなりません。

ケソン工業団地の閉鎖により、北側労働者54,000人

の生活はどのようになっているのだろうか。家族を含めれば20万人近くの生活に影響を与え、南側の中小企業と800人技術労働者が犠牲を強いられています。

今後、南北の和解が進展すれば、海外同胞が集い、ここを「海外同胞特区」と再利用していく方法は考えられないだろうか。政治的には中立を保ち、あくまでも経済活動を中心とし、南北の一切の政治的介入を排し、海外の同胞企業、南北の企業・労働者が安心して活躍できる場所とするのは夢物語なのだろうか。

朝鮮半島の平和統一めざし、もう一度「ケソン工業団地を再稼働せよ!」



韓国総選挙の民心

三千里鐵道事務局 康宗憲

4月13日、韓国で第20代国会議員総選挙が実施された。事前に野党が分裂したことから、与党「セヌリ党」の圧勝が予測されていた。ところが、「セヌリ党」は過半数議席どころか、第1党の地位からも転落するという意外な結果となった。今回の総選挙ほど、専門家たちの予測が外れた選挙もなかっただろう。本稿で、選挙結果に現れた韓国社会の民心を分析してみたい。

1. 各党の議席数と得票率の変化

韓国の国会議員総選挙は、小選挙区と比例代表の並立制で行われる。地域区253人、比例代表区47人の議員が選ばれ、任期は4年だ。各党の議席数を前回総選挙と比較すると、次のとおりである。「セヌリ党」(146⇒122)、「共に民主党」(102⇒123)、「国民の党」(20⇒38)、「正義党」(5⇒6)、無所属(⇒11)。また、比例代表の得票率では「セヌリ党」=33.5%、「共に民主党」=23.5%、「国民の党」=26.7%、「正義党」=7.2%だった。「国民の党」と「正義党」は今回新たに結成された新党なので、得票率の推移を比較できない。だが、「セヌリ党」は12.5%、「共に民主党」(旧民主統合党)は11.0%と、いずれも前回に比べ得票率が大きく減少している。

にも拘らず、「共に民主党」が第1党になったのだ(「セヌリ党」の公認を得られず無所属で当選した7人は復党の意志を表明しており、「セヌリ党」が129議席で第1党になると予測される)。今回の選挙結果には、小選挙区制の抱える問題点をはじめ、幾つかの要因が重層的に作用している。ただ、表面上の結果からは、「セヌリ党」=惨敗、「共に民主党」=善戦、「国民の党」=躍進、「正義党」(他の進歩政党も含め)=停滞、と短評できるだろう。

2. 民心の審判

今回の総選挙は言うまでもなく、朴槿恵政権の愚政に対する容赦なき審判であった。韓国市民は国政全般に渡る大統領の傲慢で独善的な姿勢に憤怒しており、何よりも、経済の失政と南北関係破綻の責任を厳しく追及したと言えるだろう。具体的には、セウォル号惨事の真相究明放棄、歴史教科書国定化の強行、日本軍「慰安婦」問題の屈辱的な対日交渉、国会と野党を無視した強引な政局運営、青年失業率と家計債務の増大、開城工団の閉鎖と南北関係の断絶など、枚挙にいとまがない。何一つ、肯定的な評価に値する治績は見当たらないのが現状だ。このままではおそらく、最も無能な大統領として記憶されるのではあるまいか。英国公営放送『BBC』や米紙『ニューヨ

ーク・タイムズ』なども、「朴槿恵大統領の独断的な統治スタイル、反政府デモへの強硬な対応」などを敗因としてあげている。

今回は、特定の政策をめぐる与野党間の論争も殆どない選挙だった。与野党は経済悪化の責任を相互に転嫁するだけで、未来への政策展望を何も提示しなかった。また、北朝鮮の核・ミサイル開発と米韓合同演習の強化という高度の軍事緊張下で実施された選挙だったが、外交・安保・統一問題などは争点にもならなかったのだ。実際の選挙遊説でも、与野党間にこれといった差異が見えなかった。さらに、比例代表候補の選出過程を見ると、経歴や資質の疑わしい人物を与野党の指導部が不明瞭な基準で公認するという、旧態まで露呈していた。有権者が投票場に向かう動機を見つけるのが困難で、「史上最悪の選挙」になるだろうと酷評されていたほどだ。

しかし、前回に比べ投票率は3.8%上昇し(54.2⇒58.0)、過半数議席の獲得を目指した与党は第2党に後退した。予想外の結果をもたらしたのは、有権者が共有した政権交代への強い願望だったと言える。韓国市民はもはや朴槿恵大統領の“統治”を望んでおらず、民主政治の回復と朝鮮半島の平和定着、公正な分配による格差の解消を求めているのだ。

ここで看過すべきでないのは、民心は「大統領と政権与党を厳しく審判した」のであり、「野党に全面的な支持と期待を表示した」のではないという事実だ。「共に民主党」と「国民の党」が議席を増やしたのは、両党の政策や主張が共感を得たからではない。あくまでも、朴槿恵政権と「セヌリ党」の失政もたらした“反射利益”にすぎない。両党が一時的なバブル議席に酔いしれていると、民心の新たな審判を免れないだろう。

すでに「共に民主党」は今回、伝統的な支持基盤の全羅道で有権者の峻厳な審判を受けている。この地域で総28議席のうち、同党はわずか3議席を得たに過ぎない。「国民の党」が23議席、与党が2議席だった。特に「民主化運動の聖地」と呼ばれる光州市で全敗した(「国民の党」が全8議席を獲得)ことは、「共に民主党」にとって致命的な痛手と言える。

全羅道の民心が「共に民主党」から離反したのは、南北関係の悪化と政権の公安弾圧(「従北」攻勢)に際し、同党が右傾化を選択し保身に回ったことに起因している。金大中政権期の南北和解・協力政策(太陽政策)を擁護せず、その成果である開城工業団地の一方的な閉鎖を阻止しなかった「共に民主党」の現状は、全羅道の民

心が同党への支持を撤回する十分な根拠となった。その結果、代案として「国民の党」に票が流れ第3党に浮上したのだ。

しかし、共同代表の安哲秀をはじめ「国民の党」の主要人氏は、ほぼ全員が中道もしくは穏健保守に分類される。決して、南北関係の改善や和解協力政策に粉骨砕身する意思を持っているとは思えない。同党のスローガンである“新しい政治”も何を意味するのか、具体的なイメージすら湧いてこない。野党内で主導権確保に失敗した「安哲秀とその仲間たち」が離脱し、「政権交代のためには第3党が必要だ」と旗を上げ、既存野党に失望している全羅道民に受け入れられたのだ。

これも一種の“反射利益”と言える。全羅道における変化は、「共に民主党」に対する審判の結果であって、「国民の党」への全面的な支持を意味するものではない。また、「国民の党」が名実ともに第3党として認定されるには、まだ程遠いと言わざるをえない。全羅道以外の地域では、ソウル市で2議席を得ただけなのだ。地域政党としての限界は明白であろう。

3. 今後の展望と課題

今回の選挙は図らずも、憲法第1条の「大韓民国は民主共和国である。大韓民国の主権は国民にあり、すべての権力は国民より出る」を実感する場となった。韓国民衆の躍動的な力量を示し、民主化の成果が決して消滅したのではないことを証明したからだ。主(あるじ)である民(たみ)が、自らの意志で、保守政権による後退と反動への流れに歯止めをかけたのだ。野党は候補一本化に失敗したが、市民が自らの判断で、当選可能な候補を選択して投票した。首都圏における「共に民主党」の勝利は、こうした市民の賢明な判断によるものだ。

市民社会の意志はさらに、1987年の民主化抗争以後、30年間にわたって韓国社会を規定してきた「地域対立の構図」を変革する動力となっている。朴槿恵大統領の地元であり保守勢力の拠点でもある大邱市で、「共に民主党」の次世代ホープ、金富謙(キム・ブギョム)が与党の重鎮に圧勝した。大邱市をはじめ与党の支持基盤地域である慶尚道は総65議席の票田だ。今回、野党と無所属が17議席を占めたのは重要な意味を持つ。野党地域の全羅道でも、「セヌリ党」が2議席を獲得している。

「地域主義」に根ざした87年体制が崩壊に向かい、その代わりに「世代対立の構図」が顕著になっているようだ。特に、20代～40代の人口比率が高くその世代が積極的に投票した地域では、「共に民主党」と「正義党」、そして無所属の議席が増えている。こうした傾向は2012年の大統領選挙でも顕著だった。20代～40代は野党の文在寅候補に、50代以上は朴槿恵候補に票が集中した。た

だ、全羅道と慶尚道だけは例外だった。両地域は世代を問わず、野党と与党に圧倒的な支持を与えたからだ。しかし今回、両地域でも世代間の差異が顕著に現れた。全羅道の20代～40代は「共に民主党」、50代～60代は「国民の党」を支持した。慶尚道では、50代～60代が「セヌリ党」を支持したが、20代～40代は「共に民主党」と無所属支持に傾斜している。

社会を変革し歴史を創造する力の源泉はどこにあるのだろうか。それは民衆の「ひたむきな心」ではないだろうか。矛盾だらけの現状を変えたいという「ひたむきな心」だ。今回の選挙も、20代～40代の「ひたむきな心」がもたらした結果だと思う。中央選挙管理委と各放送局の出口調査によると、前回(2012年)に比べ世代別の投票率推移は以下の通りである。20代(45.0%⇒49.4%)、30代(41.8%⇒49.5%)、40代(50.3%⇒53.4%)。一方、50代以上の増加率は1%に満たない。政権に失望した高世代は投票に行かなかったが、20代～40代は「ひたむきな心」で政権交代への強い意志を投票で示したのだ。

来年の12月に大統領選挙が控えている。政権交代を実現するには野党勢力の連帯が不可欠だ。「国民の党」の躍進で20年ぶりに三党体制が出現した。しかし不安定で過渡的な三党体制だ。「国民の党」は選挙後に、いち早く「セヌリ党」内部の反朴槿恵勢力に連帯のエールを表明している。一方、大統領候補に知名度の高い人物が見当たらない「セヌリ党」は、安哲秀に大統領候補の座を譲ってでも政権の延長を企図するかもしれない。大統領への道が開かれるのなら、どの政党であっても厭わないのが「安哲秀とその仲間たち」ではないだろうか。かつて金泳三が、与党との野合で大統領候補の座を得たように。

かつて金大中が野党の指導者だった時期、政権交代に向けた最大の拠り所は全羅道民の「ひたむきな心」だった。しかし今、盧武鉉政権を誕生させたもう一つの要因である、特定地域を超えた進歩・民主勢力の「ひたむきな心」なくしては、2017年の政権交代は実現しないだろう。その中核を担う20代～40代の意志に期待したい。この世代の力が、野党勢力の連帯を推進することを願う。

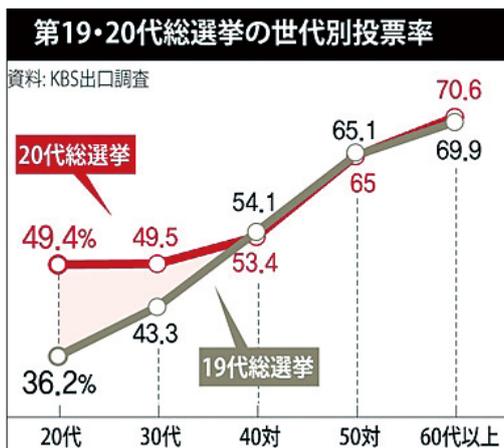
最後になったが、蔚山の地で、二人の無所属議員が誕生している。キム・ジョンフン(51歳)とユン・ジョンオ(52歳)だ。二人は労働運動の経歴が長く、朴槿恵政権の弾圧で強制解散された「統合進歩党」に所属していた共通点を持つ。二人はまた、与党の牙城だったこの地域で市議や区長を努めながら、労働者と市民の支持を広げていった。今回の選挙で民衆は、朴槿恵政権を審判し民主政治への確固たる意志を表明した。同時に、不当な弾圧でも決して消滅しない進歩政党の新たな可能性を、力強く立証した。韓国民衆の奮起に拍手を!

図解で見る第20代国会議員総選挙

去る4月13日、韓国で、第20代国会議員総選挙が行われた。事前の世論調査などでは、全300議席のうち、与党セヌリ党が過半数確保はおろか170議席以上の圧勝とさえ予想されていた。しかしいざ蓋を開けてみると、共に民主党が123議席を獲得し第一党となり、セヌリ党は122議席で惨敗するという結果になりました。

このような予想を大きくつがえず結果になったのは何故でしょう。ここでは、選挙にかかる様々な図表を手掛かりに、整理してみようと思います。

1. 投票率のアップ=青年層の投票参与



第20代総選挙の投票率は、58.0%であり、4年前の総選挙の54.2%を3.8ポイント上回っています。その原動力になったのが、20代・30代の劇的な投票率アップでした。

それは、恋愛や結婚、出産などの人生の夢と希望さえ失った「N放棄世代」が「ヘル(地獄)朝鮮」を脱するため、大挙して投票所に押し寄せたと分析されます。

朴槿恵政権になって翌年2014年4月16日にセウォル号惨事があり、最近では、歴史教科書国定化、労働法改悪など、青年たちにとってその現在と未来に直接関係する法改悪が続いたため、青年たちがたまらず立ち上がったとみることが出来るでしょう。

また、米国大統領候補指名のための民主党予備選挙におけるバーニー・サンダース旋風を支える若者たちの姿が、韓国の青年たちを鼓舞した可能性もあります。

2. 与小野大国会の出現と地域分割様相の緩和

今回の総選挙の結果の特徴は、簡潔に言うと、

- ①セヌリ党の惨敗 ②首都圏における共に民主党の圧勝
- ③全羅道における国民の党の圧勝といえます。

今回の総選挙は、野党の「政権審判論」と朴大統領の「野党審判論」が激突した選挙でした。その結果は、二つの図の通り、「政権審判論」による野党の圧勝となったのでした。

※1. オーマイニュースが、各地方区を同じ大きさにして作成した全国政党分布図

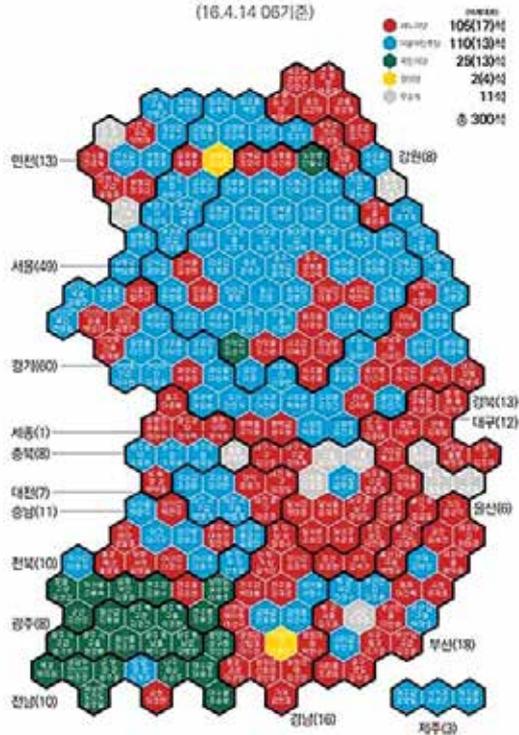
※2. 青…共に民主党、赤…セヌリ党、緑…国民の党、黄…正義党、グレー…無所属

ここで注目すべきは、セヌリ党の牙城であったソウル江南地域で3議席、大邱において一議席、共に民主党が議席を獲得したことです。さらに釜山においては5議席、慶尚南道においても4議席、野党が獲得したことです。一方、全羅道においては、セヌリ党が二議席を獲得しました。全羅道及び光州は、もともと共に民主党の地盤でしたが、共に民主党に対する反発から国民の党が全28議席中23議席を獲得したのです。しかし他はソウルで二議席にとどまっています。これは国民の党が今後、全羅道の“民心”に強く影響される他なくなったことを意味します。また、無所属候補が11議席獲得していますが、この内セヌリ党における候補者選定過程において、“親朴”審査によって公認を剥奪された候補が無所属で立候補し当選したものが7名にのぼり、この当選者はいずれもセヌリ党に復党するものと見られています。蔚山では、2014年12月に強制解散させられた統合進歩党出身の二候補が、与党陣営やマスコミなどから激しい攻撃を受けながらも無所属で当選しています。これは特筆すべきことでしょう。

3. “民心”が朴槿恵大統領を審判 野党も勝者に非ず

この表は世論調査機関アレンサーチが、投票者が何を基準にして投票したのかを調査したものです。黄塗りの部分が投票行動の特徴を示したものとと言えます。ここで明確にわかることは、①与党に投票した人も野党に投票した人も、朴大統領を投票基

제20대 국회의원 총선거
개표결과
(16.4.14 06:7기준)



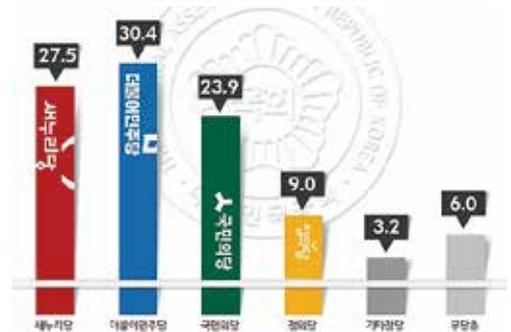
投票行動分析							
		所属 政党	朴槿恵 大統領	文在寅 元代表	湖南冷遇 親盧覇権	両党が 嫌い	その他
支持政党	全 体	18.1%	22.8%	13.0%	4.9%	10.0%	31.2%
	セヌリ党	29.2%	31.6%	1.8%	1.9%	6.6%	28.9%
	共に民主党	15.9%	22.6%	29.9%	2.3%	5.0%	24.3%
	国民の党	13.6%	16.8%	4.6%	15.9%	22.5%	26.6%
	正義党	20.8%	23.0%	22.6%	0.8%	4.5%	28.3%
	無し	5.4%	3.9%	14.5%	6.0%	1.1%	69.1%

従って今回の選挙選では、朴大統領とともにセヌリ党及び共に民主党の二大政党が審判されたと見ることができます。しかし、国民の党が躍進した理由がそこにあるにすぎない以上、国民の党の躍進は一時のバブルと形容するほかありません。韓国の“民心”は、韓国政治の現状に対して、明確にNO!! を突き付けたわけです。

4. 総選挙後の世論調査が示す朴大統領のレームダック化

総選挙直後に行われた世論調査機関リアルメーターの調査によれば、朴大統領の国政に対する支持度は、肯定的評価が31.5%に対して否定的評価が62.3%、ほぼ二倍の値を示しています。また、政党別支持度では、セヌリ党が急落して共に民主党に首位を明け渡しています。

このような状況の中、総選挙から五日後の18日、首席秘書官会議で「今回の選挙結果は、国民の民意が何だったのか考えるきっかけになった。」と述べるにとどまり、「第20代国会が民生と経済に邁進する、働く国会になることを期待している。」と述べながら、自らが国民によって審判、いや断罪されたといっている過言でないことには目をつぶり、これまでの失政の責任を国会に擦りつける姿勢に変わりが無いことを示しました。セヌリ党の金武星代表以下指導部が敗北の責任を取って辞任し、“親朴”審査によって候補者になれず無所属候補となって当選した“非朴”系実力派議員が復党した場合に、朴大統領は、与党の中でも孤立を深めることにならざるを得ないと言わざるを得ません。



5. 在外選挙に現れた在日同胞と海外同胞の民意

まず投票者数を見ると、在外同胞全体では、13%増加していますが、在日は逆に22.4%減少していて、7,600名にすぎません。在日国民500,451人（永住権者424,163人、留学生を含む一時滞在者75,838人）のうちわずか1.5%、永住権者に限ってその投票者数を5,000人と推定すると、わずか1.2%となり、これが在日同胞の祖国への関心度を図る一つの指標になると考えられます。韓国政府公認の唯一の民族団体と自称し、韓国政府から年間80億ウォンもの支援金を支給されている民団の実像も推し量ることができます。

比例区の各政党別得票数を見ると、与党セヌリ党は全体の3割にも満たない26.9%という惨敗。野党の得票数の順位は、共に民主党の次が正義党で、国民の党は第4位に終わっています。韓国国内の同胞が、二大政党双方に審判を下して国民の党に投票した以上に、海外同胞は正義党に投票したと言えるのかもしれませんが。またその他の政党への投票率が高いのも特徴として表れています。

在外選挙比例区投票者数		
	20代総選	19代総選
全 体	63,797	56,456
米 国	13,914	10,293
日 本	7,600	9,793
中 国	8,524	7,876
そ の 他	33,759	28,494

6. 次は、2017年12月の大統領選挙

今回の総選挙は、与野二大政党の候補者公選を巡る党内分裂と葛藤が露わとなり、国民の政界を見る視線はこれまで以上に厳しい中で行われました。それにもかかわらず投票率が上昇したのは、国民の政治変革に対する強い願望が現れたものと分析できますし、結果はまさに国民の勝利と形容できるでしょう。この状況は、来年の大統領選挙に向けてますます強くなるのが予測されます。

在外選挙比例区政党別得票数		
	得票数	得票率
共に民主党	23,936	37.5
セヌリ党	17,172	26.9
正義党	10,559	16.5
国民の党	8,456	13.2
その他政党	3,674	5.8
合計	63,797	100.0

与党セヌリ党において次期大統領候補と言われていた三人、金武星、呉世勲、金文洙は、それぞれ、総選挙の惨敗を受けて代表を辞任、韓国の政治一番地と言われるソウル鍾路で落選、セヌリ党の牙城である大邱で落選という結果となりました。結果、めぼしい人材がいなくなりました。それに比べて野党側は、文在寅共に民主党元代表、安哲秀国民の党代表、朴元淳ソウル市長、李在明城南市長、今回大邱で金文洙を破って当選した金富謙など、人材が豊富です。

何としても政権交代を果たしたいものです。大統領選挙が今から楽しみです。

開城工業団地を再稼働せよ!!

「小さな統一の奇跡の空間」

1月と2月に敢行された北の核実験と衛星ロケット発射に対し、南は開城工業団地の全面的な操業停止を通告しました。それを受け翌日には北が、開城工団を閉鎖して資産の凍結をし、軍事統制区域にすると宣言しました。

『6.15 共同宣言』が李明博—朴槿恵政権によって形骸化された中でも、南北の和解と経済協力の象徴である開城工団は、『小さな統一の奇跡の空間』として命脈を維持してきました。2013年に韓米合同軍事演習への対抗措置として北が開城公団を一時閉鎖しましたが、その時も約半年後には、南北両政権の合意の下、操業を再開しています。

その時、南北両政権は「いかなる場合にも情勢の影響を受けることなく、開城工団の正常な運営を保障する」と約束して操業再開しました。ところが、朴槿恵政権は一方的に「制裁」措置として操業停止を通告したわけです。

NPO 法人三千里鐵道は、昨年来『在日同胞開城工業団地視察団』を計画し、2月12日に行うことで統一部の許可も得ていましたが、この事態を受けて中止に追い込まれました。それで急遽、事務局会議を持ち、下記のように決めました。

1. ハンギョレ新聞に意見広告を出すこと。
2. 6.15 共同宣言 16周年記念集会に、開城工団管理委員会の企業支援部長として勤務し、昨年『開城公団の人々』という著書を発刊された金鎮香さんをお招きすること。

金鎮香さんは、KAIST(韓国科学技術院)教授でしたが、この間の情勢の中で退職を余儀なくされました。



講演 金鎮香 김진향

略歴◎——慶北大学大学院 政治学・韓国政治・北韓統一/大統領官邸 国家安全保障會議事務局韓半島平和体制担当官 / 大統領秘書室統一外交安保政策室 / 南北関係局長/開城工団管理委員会企業支援部長/KAIST(韓国科学技術院) 未来戦略大学院 研究教授
博士論文◎——韓半島統一に関する談論の分析
著書◎——『韓半島平和体制』2008年 / 『開城工団の人々』2015年6月

日時◎——2016年6月18日(土) 13:15開場 / 13:30開演

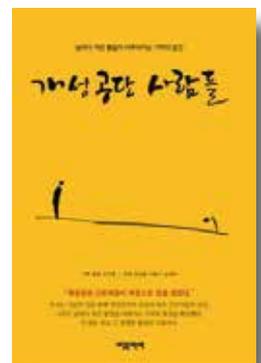
場所◎——名古屋YWCA ビッグスペース
(名古屋市中区新栄町2丁目3 愛知県芸術劇場向い側)



講演◎——金鎮香さん
『開城公団の人々』著者

参加費◎——1000円 *学生無料

主催◎——NPO法人三千里鐵道
問合せ Tel.0532-53-6999



▲『開城工団の人々』
当日 抜粋パンフレット
を呈呈します。